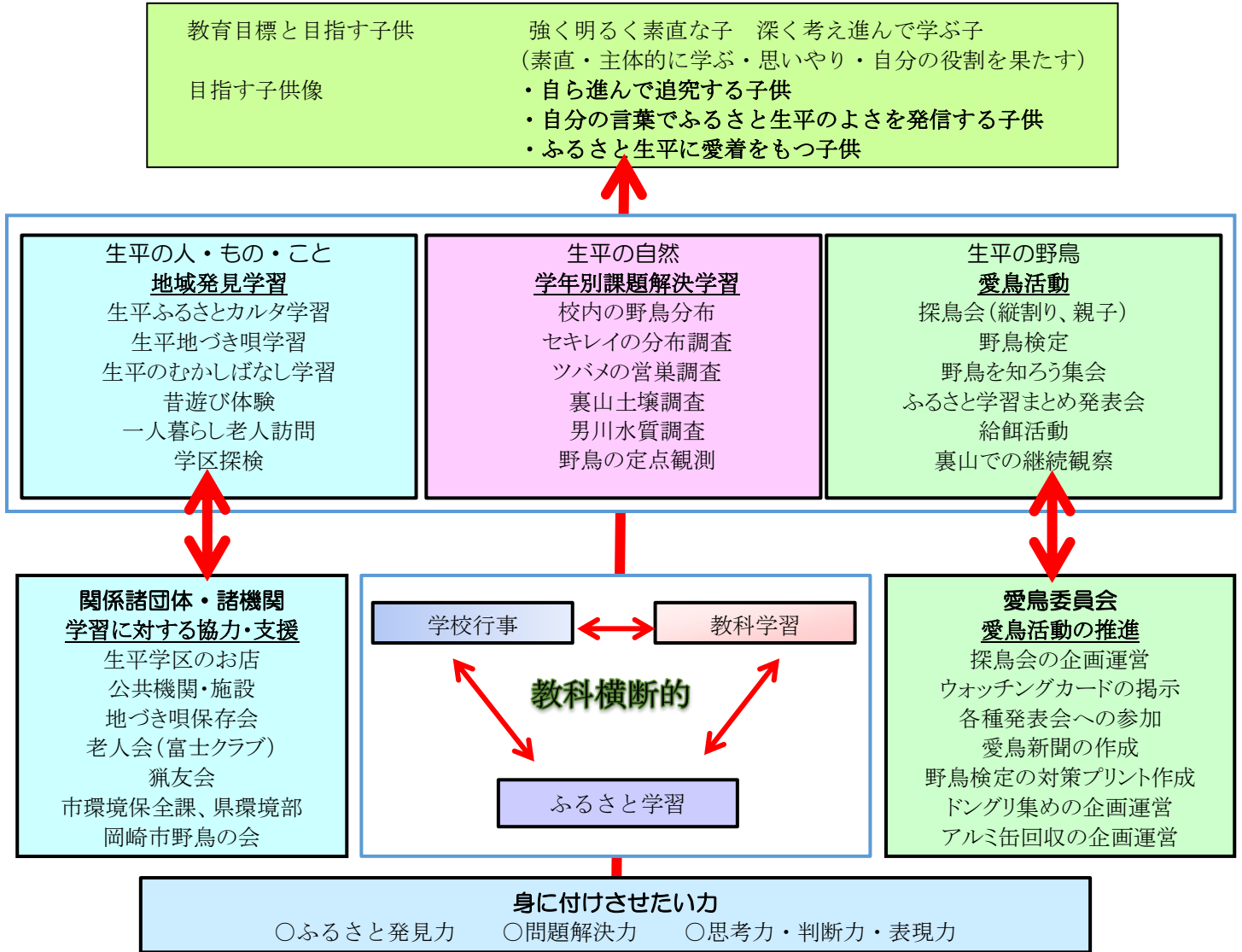


総合的な学習の時間の指導計画「ふるさと学習」

○全体計画



○生活科・総合的な学習の時間のテーマ

| 系統性 | 学年 | テーマ |
|----------|----|--------------------------------|
| ふるさとを知る | 1年 | 学校にはどんな野鳥がいるかな？ |
| | 2年 | 学区にいる野鳥・人・お店とのつながり |
| ふるさとを守る | 3年 | 学区のセキレイ調査～富士クラブとの共同調査～、地つき唄の伝承 |
| | 4年 | ツバメとふるさと～人と共に生きる野鳥～ |
| ふるさとに広げる | 5年 | 学校裏山環境と生き物の関わりを考えよう |
| | 6年 | ふるさと池にカワセミを呼ぼう～未来につながる環境整備～ |

○各学年の目標

| 学年 | 学 年 目 標 |
|----|--|
| 1年 | 学校や公園で野鳥や動植物を自分の目で見つれたり、名前を覚えたりする活動を通して身近な自然に親しみ、動植物を育てる活動を通して、成長や命への関心を高める。 |
| 2年 | 学習活動を通して疑問に感じたことについて、観察をしたり、図鑑などで調べたり、人に聞いたりして、分かったことを自分の言葉で表現することができる。 |
| 3年 | 学区に古くから伝えられている行事や史跡、学区に生息する野鳥などの野生生物について課題を見つけ、興味をもって参加したり、調べたりして分かったことを自分の言葉で表現することができる。 |
| 4年 | 野鳥の生態や植物の成長について、季節の変化や環境の違いを観点として課題を見つけ、調べたり尋ねたりする活動を通して追究したことを自分の言葉でまとめ、発表することができる。 |
| 5年 | ふるさと池などの身近な自然に親しみ、多様な生き物がすみやすい環境を守り、育てていこうとする態度を身につける。また、その過程で生じた疑問を専門的な知識をもつ方のお話を聞くなど、他者との関わりの中で解決しようとする。 |
| 6年 | 学校の裏山などの身近な自然に親しみ、人間を含めた多様な生き物がすみやすい環境を守り、育てていこうとする態度を身につける。また、地域の人を中心として、活動の成果を発信することができる。 |

○「ふるさと学習」で身に付けさせたい力（発達段階別）

| 学年 | ふるさと発見力 | 問題解決力 | 思考力・判断力・表現力 |
|-----|---|--|--|
| 低学年 | 学区の人との関わりや自然に親しむ活動の中から、人や自然との関わり楽しさに気付くことができる。 | 野鳥や虫、草花について見つけた疑問を、人に聞いたり、図鑑で調べたりして解決することができる。 | 野鳥や虫、草花を絵に描いたり、探検で見つけたことを文に書いたりして、説明することができる。 |
| 中学年 | 自分の課題を意識しながら、地域の自然や史跡、人と関わり、生平のよさに気付くことができる。 | 問題を解決するために必要な情報を探し、互いに協力しながら追究活動を行うことができる。 | 観察したことや調べたことをまとめて、言葉で発表したり、報告文や新聞に整理したりすることができる。 |
| 高学年 | これまでの愛鳥活動や野生生物保護についての体験をふまえて、これからの生平に必要なことを考えることができる。 | 数ある情報の中から、自分の課題を解決するために必要な情報を取捨選択し、それらを用いて追究活動を行うことができる。 | 追究で得た情報を分かりやすく整理し、最適な手段を選んで発表したり、発信したりすることができる。 |